

2020年1月

「特定自主検査に関わる状況等調査（第二次）」 アンケート御協力のお願い

拝啓、時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、公益社団法人建設荷役車両安全技術協会（以下、「当協会」と言います。）の業務にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、この度本年3月に行いました「特定自主検査に関わる状況等調査（第一次）」アンケートに引き続き第二次のアンケート調査を実施（※）させていただくこととなりました。

今回のアンケートでは、特定自主検査を実施されている検査業者登録の会員様を対象に、特定自主検査の実施状況や検査員の研修、キャリア形成支援、働き方改革に対する取組に関するご意見を多角的にお尋ねし、特定自主検査の更なる普及・促進をはじめ、当協会が実施する研修事業や広報・宣伝活動を改善するために実施させて頂くものです。

ご回答は、特定自主検査の責任者・管理者の方でも検査実務を担当する検査員の方でも、ご回答できる方であればどなたでも結構です。ただし、全社（または事業所）レベルでの考え方に係る質問については、運営・管理部門の方とご相談の上、ご回答ください。

今回皆様方からいただきましたご回答の一つ一つが、特定自主検査の普及推進、当協会活動の改善にとって極めて有用なものとなります。ご理解ご協力の程、何とぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会
会長 酒井信介

※本アンケートは、公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会の委託先である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が実施いたします。

※この調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

経済政策部 tel.03-6733-4918 fax.03-6733-1029

担当 大野（おおの）、馬場（ばんば）、豊島（とよしま）

お問い合わせ受付時間：月～金曜日 午前10時～12時、午後1時～5時

「特定自主検査に関する状況等調査（第二次）」 アンケート御協力のお願い

2020年1月

公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

本調査は、公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会の委託により、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が実施させて頂くものです。皆様方からご回答の一つ一つが、特定自主検査の普及推進、および協会活動の改善にとって極めて有用なものとなります。ご理解ご協力の程、何とぞよろしくお願い申し上げます。

～ ご記入にあたって ～

- ご回答は、特定自主検査の責任者・管理者の方でも検査実務を担当する検査員の方でも、ご回答できる方であればどなたでも結構です。ただし、全社（または事業所）レベルでの考え方に関する質問については、運営・管理部門の方とご相談の上、ご回答ください。
- ご回答は、基本的に2020年1月1日を基準としてください。ただし、難しい場合には直近でご判断できる時期で結構です。
- ご記入にあたっては、黒または青のボールペン、濃い目の鉛筆をご使用ください。
- ご回答は、直接□の中に記入してください。選択肢が用意されている場合は、あてはまる項目の番号に○印を記入してください。また、「その他」にあてはまる場合は、ご面倒でもなるべく詳しく内容をご記入ください。
- ご記入頂きましたアンケート用紙は、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**1月31日(金)**までにポストに投函してください。
- この調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

【特定自主検査に関する状況等調査アンケート事務局】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

経済政策部 tel.03-6733-4918

担当 大野（おおの）、馬場（ばんば）、豊島（とよしま）

お問い合わせ受付時間：午前10時～12時、午後1時～5時 土日祝日除く

貴社名（貴所名）・ご回答者の所属部署名・役職・連絡先等をご記入ください

個人情報の取り扱いに関する事項にご同意いただける場合は、お名前等をご記入ください。

(ふりがな)	
貴社名 (または貴所名)	
所在地	〒
所属部署名	
役職・お名前※1	
e-mail	電話

【※1】個人情報の取り扱いにつきましては、本調査票の最終ページをご参照下さい。

I 特定自主検査員に係る現況および諸課題についてお聞きします

問1 特定自主検査の検査員の資格取得について、お尋ねします。

(1) 特定自主検査を実施する検査員数について

貴社（貴所）では、特定自主検査を実施する検査員は何人いますか。車種別にお答えください。外国人の検査員がいる場合は、その人数もご回答ください。

※ 一人で複数の車種資格を有している場合は、資格ごとにそれぞれ1人とカウントしてください。

※ 外国人：日本国籍を有していない方

車種	検査員数	車種	検査員数
フォークリフト	人 (うち外国人 人)	締固め用機械	人 (うち外国人 人)
不整地運搬車	人 (うち外国人 人)	コンクリート打設用機械	人 (うち外国人 人)
整地・運搬・積込み用、掘削 及び解体用機械	人 (うち外国人 人)	高所作業車	人 (うち外国人 人)
基礎工事用機械	人 (うち外国人 人)		

(2) 検査員の年齢別構成について

貴社（貴所）における、年齢別の検査員数（実数）をお答えください。

年齢層	人数
20～29歳	人
30～39歳	人
40～49歳	人
50～59歳	人
60歳以上	人

(3) 検査員の資格取得方法について

貴社（貴所）では、下記の検査員の資格をどのような方法によって取得されていますか。車種別にご回答ください。（該当する有資格者がいない場合は、車種の列に横線「—」を引き、有資格者がいる場合は、資格取得の方法で該当する箇所にその資格者の数を記入してください。）

車種	整地・運搬・積込み用、掘削及び解体用機械（ショベル等）	基礎工事用機械	締固め用機械（ローラー等）
検査員資格			
建荷協の検査員資格取得研修			
建設機械整備技能士の資格			
その他の資格			

(4) 検査員の資格取得経緯について

貴社（貴所）では、特定自主検査の検査員を確保するために、どのようなことを実施されていますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 社員に建荷協の検査員資格取得研修により資格を取得させている
2. 社員に建設機械整備技能士の試験を受験させている
3. 検査資格を有する者を社員に採用している
4. 検査員数は現在足りており、当面増やす計画はない
5. その他（具体的に：）

(5) 検査員資格を有する社員の技術・技量について

貴社（貴所）では、特定自主検査の検査員の技術・技量について、どのようにご覧になっていますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 社員に建荷協の検査員資格取得研修を履修させて技術・技能が向上している
- 2. 社員に建設機械整備技能士の試験を受験させて技術・技能が向上している
- 3. 採用した検査資格を有する社員の技能に満足している
- 4. その他（具体的に：）

(6) 「機械・車両の多様化、技術内容の多様化」への対応について

貴社（貴所）では、検査員などの技術系社員の「機械・車両の多様化、技術内容の多様化」への対応ため、どのようなことを行っていますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. メーカー（販社）の技術講習（新機種講習等）に参加させている
- 2. メーカー（販社）に社内での教育を依頼、実施している
- 3. 公的団体等の講習を受講させている
- 4. 技術、技能の習得は本人に任せている
- 5. その他（具体的に：）

(7) 検査員資格取得研修以外の講習を受講する必要性について

最近の法、規則等の改正により労働安全衛生法（安衛法）第59条第3項の特別教育の対象となる業務に新たに「高さが2メートル以上の箇所であって作業床を設けることが困難なところにおいてフルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業に係る業務」が追加され、安全衛生特別教育規程の一部を改正する件が令和元年8月8日に告示され「電気自動車等の整備の業務に係る特別教育の創設」が追加されました。このような教育を受講する機会についてどのような意見をお持ちですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 特自検実施時に車両・機械によっては必要となる場合のある、安全帯の特別教育を受講できればよい
- 2. 特自検実施時に車両・機械によっては必要となる場合のある、低電圧の特別教育を受講できればよい
- 3. 安全帯と低電圧の特別教育は、個別に受講させているので特に問題はない
- 4. その他（具体的に：）

II 特定自主検査員資格取得研修および資料についてお聞きします

問2 検査員の資格取得研修について、お尋ねします。

(1) 地元（所在都道府県）での開催であれば受講を希望する車両・機械について

貴社（貴所）では、地元（所在都道府県）開催であれば、検査員の資格取得研修の受講を希望する車両・機械はありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. フォークリフト
- 2. 不整地運搬車
- 3. 整地・運搬・積込み用、掘削及び解体用機械
- 4. 基礎工事用機械
- 5. 縮固め用機械
- 6. コンクリート打設用機械
- 7. 高所作業車

(2) 資格取得研修を受けるのに都合の良い時期

貴社（貴所）では、検査員の資格取得研修を受けるのに都合の良い時期はいつごろですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 1月～3月頃
- 2. 4月～6月頃
- 3. 7月～9月頃
- 4. 10月～12月頃
- 5. 時期はあまり気にしていない

(3) 資格取得研修を受けるのに都合の良い日取り（曜日）

貴社（貴所）では、検査員の資格取得研修を受けるのに都合の良い日取り（曜日）はいつですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 週中の平日
- 2. 週中の平日から週末休み
- 3. 週末休みから明けの平日
- 4. 週末の休みのみ
- 5. その他（具体的に：）

問3 検査マニュアル・整備基準値について、お尋ねします。

(1) 検査マニュアルの活用状況について

貴社（貴所）では、特定自主検査の検査マニュアルをどのように活用していますか（○は1つ）。

1. 検査方法の再確認や社内での勉強会などで検査マニュアルを使用している
2. 検査マニュアルを参考にして社内用の資料などを作成している
3. 検査マニュアルを保有しているが、あまり活用していない
4. 検査マニュアルの存在は知っているが、保有していない
5. その他（具体的に：）

(2) 検査・整備基準値表について

貴社（貴所）では、特定自主検査の整備基準値表を活用していますか（○は1つ）。

1. 検査出来る機械の基準値表を保有し日常的に参照するなど活用している
2. 旧版の基準値表の内容が建荷協本部のホームページに掲載されているのを知っており、たまに参照することがある
3. 基準値表は保有しているが、あまり活用していない
4. 基準値表の存在は知っているが、保有していない
5. その他（具体的に：）

III 人手不足の実態、社員のキャリア形成、働き方改革の実態についてお聞きします

問4 貴社（貴所）における人材の過不足状況について、お尋ねします。

(1) 人手の過不足状況

貴社（貴所）における、全般的な人手の過不足状況をお答えください（○は1つ）。

1. 全般的な人員数は過剰である
2. 全般的な人員数はやや過剰である。
3. 全般的な人員数は適正である。
4. 全般的な人員数はやや不足している。
5. 全般的な人員数は不足している。

(2) 不足している人材層

貴社（貴所）において、不足している人材層をお答えください。それぞれの層において、妥当と思われる数字を選択して丸印で数字を囲ってください（それぞれ、もっともあてはまる番号1つに○）。

	その通り	ややその通り	あまりそうで	そうではない	関係らない、
1. 管理者（工場長、サービス部長等）	1	2	3	4	5
2. 専門技術者（サービス課長、フロント等）	1	2	3	4	5
3. 事務職員	1	2	3	4	5
4. 技術者（サービス員、メカニック社員等）	1	2	3	4	5
5. その他の部門社員（具体的に）	1	2	3	4	5
6. 不足している人材層はない	1	2	3	4	5

(3) 人手不足に対する将来に向けての対応方法

貴社（貴所）において、人手不足に対する将来に向けての対応方法として、力を入れていることは何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 正規社員の採用
2. 外注作業者の活用
3. 高齢者（経験者）の再雇用（60～64歳）
4. 高齢者（経験者）の再雇用（65歳以上）
5. 女性の活用
6. 若年層の採用
7. 外国人材の活用
8. その他（具体的に：）

(4) 外国人社員の雇用・育成

貴社（貴所）では、外国人社員の雇用・育成について、どのような考え方をお持ちですか。それぞれの項目において、妥当と思われる数字を選択して丸印で数字を囲ってください（それぞれ、もっともあてはまる番号1つに○）。

	その通り	ややその通り	あまりそう	そうではない	関係ない
1. 語学、技能とも優秀な外国人社員がいれば検査員資格を取得させたい	1	2	3	4	5
2. 技能の優秀な外国人社員がいるが、語学の問題で検査員資格を取得できない	1	2	3	4	5
3. 検査員資格を有している外国人社員が在籍している	1	2	3	4	5
4. 検査員資格を有している外国人を社員として採用したい	1	2	3	4	5
5. 検査員資格を有していないくとも、外国人を社員として採用し、育成していきたい。	1	2	3	4	5
6. 外国人社員を採用するには語学、コミュニケーションなどで不安がある	1	2	3	4	5
7. その他（具体的に：）					

(5) 賃上げの方針

貴社（貴所）では、人材を確保する上で、賃上げについてどのような考え方をお持ちですか。それぞれの項目において、妥当と思われる数字を選択して丸印で数字を囲ってください（それぞれ、もっともあてはまる番号1つに○）。

	その通り	ややその通り	あまりそう	そうではない	関係ない
1. 優秀な人材を確保するために、賃金を引き上げることが必要	1	2	3	4	5
2. 優秀な人材を確保するために、賃金を引き上げたいが社内のバランスも考慮すると大幅には上げられない	1	2	3	4	5
3. 優秀な人材を確保するために賃金を引き上げたいが、コスト増となるため、引き上げられない	1	2	3	4	5
4. その他（具体的に：）					

(6) 福利厚生の方針

貴社（貴所）では、人材を確保する上で、福利厚生についてどのような方針をお持ちですか。それぞれの項目において、妥当と思われる数字を選択して丸印で数字を囲ってください（それぞれ、もっともあてはまる番号1つに○）。

	その通り	ややその通り	あまりそう	そうではない	関係ない
1. 優秀な人材を確保するために、住宅費補助（あるいは社宅の提供）や、休暇日数の増加等を充実させる	1	2	3	4	5
2. 優秀な人材を確保するために、住宅費補助（あるいは社宅の提供）や、休暇日数の増加等を充実させたいが現状では一部しか実施できない	1	2	3	4	5
3. 優秀な人材を確保するために、住宅費補助（あるいは社宅の提供）や、休暇日数の増加等を充実させたいが、コスト増となるため、現状より充実させられない。	1	2	3	4	5
4. その他（具体的に：）					

問5 社員のキャリア形成支援について、お尋ねします。

(1) 資格等の取得について

貴社（貴所）では、社員の運転・技能等の資格取得について、どのような支援を行っていますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 計画を立てて経験年数に応じて運転・技能等の資格を取得させている
- 2. 計画は立てていないが、経験年数に応じて運転・技能等の資格を概ね取得させている
- 3. 社員本人の申し出により、運転・技能等の資格を検討し取得させている
- 4. 運転・技能等の資格の取得は本人に任せている
- 5. 運転・技能等の資格取得の費用は、全額会社で負担している
- 6. 運転・技能等の資格取得の費用は、一部を会社で負担している
- 7. 運転・技能等の資格取得の費用は、個人負担にしている
- 8. その他（具体的に：）

(2) 技能・技術継承について

貴社（貴所）では、社員の技能・技術継承についてどのような取り組みを行っていますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 社内で定期的に勉強会（講習等）を開催している
- 2. 必要の都度、社内で勉強会を開催している
- 3. 社内にて認定制度を設けている
- 4. 社内で技術や技能などの競技会を開催している
- 5. 日常業務においてブラー、バディなどの固定チーム制的な組織体制を組んでいる。
- 6. 特に技能・技術継承を意識した取り組みは行っていない
- 7. その他（具体的に：）

問6 貴社（貴所）における時間外労働の実態についてお答えください（○は1つ）。

- 1. 労働力の範囲内での業務量となっているので、時間外労働はあまり発生していない。
- 2. 通常は労働力の範囲内での業務量であるが、繁忙期には、時間外労働が発生している。
- 3. 恒常に労働力が不足しているため、常に時間外労働が発生している。
- 4. その他（具体的に：）

6-1 労働基準法の一部が改正され、大企業では既に施行されており、中小企業においても令和2年4月より、時間外労働の上限は原則として月45時間・年360時間となり、臨時的な特別な事情がなければこれを超えることができなくなります。この規制についてどの程度知っていますか。（○は1つ）。

- 1. よく知っており、内容も理解している。
- 2. あまりよく知らない、これから内容の理解に努める。
- 3. その他（具体的に：）

6-2 貴社（貴所）では、時間外労働に関する上限を実践できていますか（○は1つ）。

- 1. すでに会社で対応できている。
- 2. 令和2年4月からは対応できるよう準備している。
- 3. まだ対応（対応の準備）ができていない。
- 4. その他（具体的に：）

※ここからは昨年お尋ねした内容と同様の質問になります。

IV 貴社（または貴所）の概要についてお聞きします

問7 貴社（貴所）の特定自主検査の実施に係る検査員数をご記入ください。ご回答は、建荷協への入会単位でお答えください（会社として入会されている場合は会社単位、事業所として入会されている場合は事業所単位。車種資格別の延べ人数ではなく、検査員総数でご回答ください）。

検査員数
人

問8 貴社の企業形態は次のどれに該当しますか（○は1つ）。

- | | | |
|--------------|-----------|---------|
| 1. 株式会社 | 2. 有限会社 | 3. 個人経営 |
| 4. 合名または合資会社 | 5. その他（ ） | |

問9 貴社の主たる業種は次のどれに該当しますか（○は1つ）。

- | | | |
|-----------------------|----------------|----------------|
| 1. 検査・整備業（機械・車両販売を含む） | 2. リース・レンタル業 | 3. 自動車等の販売・整備業 |
| 4. 商社（機械・車両販売を実施） | 5. 機械・車両製造メーカー | 6. その他（ ） |

問10 貴社（貴所）は建設荷役車両に関し、下記のいずれの車両区分についての検査を実施されていますか（当てはまるものすべてに○）。

- | | | | |
|---------|------------|------------|--------------|
| 1. 建設機械 | 2. フォークリフト | 3. 左記の両機械群 | 4. その他の車両・機械 |
|---------|------------|------------|--------------|

V 特定自主検査の対象の状況についてお聞きします

問11 2019年における特定自主検査（特自検）の実施状況及び前年との比較を、（1）他社から依頼を受けて実施する機械・車両分、（2）自社保有の機械・車両分に分け、それぞれの台数を下記の該当する欄に記入してください。（暦年（1月～12月）ベースでご回答ください。関係ない欄には「0」の文字を記入してください。）

（1）他社から依頼を受けて実施する車両・機械について

摘要	車両系建設機械 (整地・運搬等機械・基礎工事機械・締固め機械・コンクリート打設機械等)	車両系荷役運搬機械 (フォークリフト・不整地運搬車等)	高所作業車
貴社（貴所）が <u>2019年(1月～12月)</u> に依頼を受け特自検を実施した機械・車両の台数	台	台	台
貴社（貴所）が <u>2018年(1月～12月)</u> に依頼を受け特自検を実施した機械・車両の台数	台	台	台

（2）自社保有の車両・機械について

摘要	車両系建設機械 (整地・運搬等機械・基礎工事機械・締固め機械・コンクリート打設機械等)	車両系荷役運搬機械 (フォークリフト・不整地運搬車等)	高所作業車
貴社（貴所）が <u>2019年(1月～12月)</u> に検査を実施した自社の機械・車両の台数	台	台	台
貴社（貴所）が <u>2018年(1月～12月)</u> に検査を実施した自社の機械・車両の台数	台	台	台

VI 特定自主検査を取り巻く市況についてお聞きします

問12 特定自主検査について、貴社（貴所）のお考えに最も近いものはどれですか。それぞれの項目について、妥当と思われる数字を選択して丸印で数字を囲ってください（それぞれ、もっともあてはまる番号1つに○）。

	その通り	ややその通り	あまりそうでは	そうではない	わからぬ
(1) 特定自主検査の規定料金について					
①特定自主検査の規定料金は、採算が取れる水準である	1	2	3	4	5
②特定自主検査の規定料金は、顧客から高いと思われている	1	2	3	4	5
(2) 特定自主検査の受注・契約について					
③特定自主検査を継続的に受注できている	1	2	3	4	5
④特定自主検査の受注を今後増やしていきたい	1	2	3	4	5
(3) 特定自主検査で見つかった不具合への対応について					
⑤特定自主検査で見つかった不具合は、補修や整備まで一連で受注できている	1	2	3	4	5
⑥顧客から積極的に補修の依頼が来る	1	2	3	4	5
⑦貴社（貴所）から補修を勧めないと、顧客からの補修の依頼はこない	1	2	3	4	5
(4) 特定自主検査業務の社内点検、管理について					
⑧「特定自主検査業務点検表」の点検項目に沿って業務監査を実施している	1	2	3	4	5
⑨特定自主検査の記録表を電子データ化（パソコンなどで入力できる）することは、効率化に繋がり期待できる	1	2	3	4	5

12-1 特定自主検査を顧客から受注する際、最も重要な決め手となるのは、以下のどれですか（○は1つ）。

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 顧客からの自主的な依頼 | 2. 顧客との継続的取引 |
| 3. 顧客との間の検査・整備請負契約の有無 | 4. 安い料金水準 |
| 5. 貴社（貴所）による特定自主検査に関する営業活動 | 6. その他（具体的に
） |

12-2 特定自主検査の実施管理について、意見・要望等がありましたら、自由にご記入ください。

問13 貴社（貴所）を取り巻く市況について、妥当と思われる数字を選択して丸印で数字を囲ってください
(それぞれ、もっともあてはまる番号1つに○)。

	その通り	ややその通り	はあまりそうで	そうではない	わ関係らない
① 需要の減少、低迷	1	2	3	4	5
② 修理・点検等の受注価格の下落	1	2	3	4	5
③ 設備機器の老朽化（破損を含む）	1	2	3	4	5
④ 資金調達が困難	1	2	3	4	5
⑤ 機種の多様化・技術内容の高度化	1	2	3	4	5
⑥ 専門技術員の高齢化、技術継承が困難化	1	2	3	4	5
⑦ 人手不足	1	2	3	4	5
⑧ 賃金の高騰	1	2	3	4	5
⑨ その他（ ）	1	2	3	4	5

【個人情報の取り扱いについて】

皆様の個人情報は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングのWebページに掲載致しております「個人情報保護方針」及び「個人情報の取扱いについて」に従い適切に取り扱います。<ご参考 <http://www.murc.jp/profile/privacy.html>>

【利用目的】お預かりしている個人情報は、本アンケートの分析のために利用させていただきます。個々の調査票の結果やご回答内容が、貴社のご承諾がなく、他に知られることはございません。

【預託】お預かりしました個人情報は、集計作業等のために預託することがあります。その際には十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約等によって保護水準を守るよう定め、適切に取り扱います。

【ご同意頂けない場合】個人情報のご記入は任意です。個人情報をご記入いただけない場合であっても調査票は返信用封筒をご利用の上、投函をお願いいたします。個人情報が未記入であっても集計から除外されることはありません。

【お問い合わせ先】お預かりしている個人情報の開示、削除等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましては、1ページ目に記載した連絡先までお願い申し上げます。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。